

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社  
 コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 池田 辰雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 田中 慶壽  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

TEL 03-5687-6025

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	27,802	—	355	—	313	—	153	—
20年3月期第2四半期	27,172	20.8	1,806	78.6	1,716	78.1	1,394	96.9

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	1.04	—
20年3月期第2四半期	9.51	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	50,143	21,580	43.0	147.08
20年3月期	49,621	21,954	44.2	149.62

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 21,580百万円 20年3月期 21,954百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	3.50	3.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	9.5	1,650	△38.6	1,500	△40.1	900	△51.6	6.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	146,876,174株	20年3月期	146,876,174株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	156,501株	20年3月期	143,404株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	146,727,659株	20年3月期第2四半期	146,747,848株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準 第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、4-6月期の実質GDP成長率が前期比△0.7%（年率△3.0%）と4四半期ぶりのマイナス成長となるなど、昨年末をピークに景気後退局面に入ったと言われ、景気の減速感が拡大しています。

鉄鋼業界においては需要が依然堅調に推移し、本年4-9月の粗鋼生産量は6,150万トン（前年同期比2.8%増）となり、年度半期としては07年度下期に次ぐ過去第2位の水準となりました。特殊鋼業界においても、同期間の特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量が1,119万トン（同6.4%増）を記録し、同じく史上第2位の高水準となりました。

このような環境下で、主原料である鉄スクラップが年初より7月にかけて急騰し、合金鉄も含めた原料及び燃料価格が大きく上昇しましたが、販売価格の改善が追いつかず、前年同期に比べ大幅な減益を余儀なくされました。

当第2四半期累計期間の連結売上高は、販売価格の改善によって前年同期に比べ630百万円（2.3%）増加し、27,802百万円となりました。連結経常利益は1,403百万円（81.8%）減少し、313百万円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### [特殊鋼]

ニッケル価格の下落による関連製品価格の低下や買い控えによる数量減があったものの、工具鋼をはじめとした需要は堅調に推移しました。また、鉄スクラップやクロムの価格高騰に対応して販売価格の改善を行い、売上高は前年同期に比べ93百万円増加の22,211百万円（前年同期比0.4%増）となりました。営業利益については、原料・燃料の高騰に対し販売価格の改善を進めましたが、価格改善よりコストの増大が上回ったことなどにより、1,533百万円減少して136百万円（同91.8%減）となりました。

#### [鑄鉄]

売上高は主力の自動車および建設機械関連製品が堅調に推移したことに加え、販売価格の改善や数量増により前年同期に比べ500百万円増加し4,244百万円（前年同期比13.3%増）となりました。営業利益は原料のコストアップがあったものの、販売価格改善や退職給付関連費用の追加認識がなくなったことなどにより43百万円増加し、172百万円（同32.7%増）となりました。

#### [金型・工具]

主力の金型製品の受注拡大に注力し、売上高は前年同期に比べ38百万円増加し1,347百万円（前年同期比2.9%増）となり、営業利益は工場建物・土地を自社保有に切り替えた賃借料削減効果などにより39百万円増加し、46百万円（同556.0%増）となりました。

※前年同期比は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は受取手形及び売掛金の減少836百万円、たな卸資産の増加1,644百万円等により50,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ522百万円増加しました。

負債合計は支払手形及び買掛金の増加1,883百万円、未払法人税等の減少596百万円、退職給付引当金の減少445百万円等により28,563百万円となり、前連結会計年度末に比べ897百万円増加しました。

純資産合計は第1四半期における配当金の支払等により21,580百万円となり、前連結会計年度末に比べ374百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.2%から43.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、1,128百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益287百万円、減価償却費964百万円、売上債権の減少836百万円、仕入債務の増加1,907百万円等により増加した一方、たな卸資産の増加1,644百万円、法人税等の支払808百万円等により減少した結果、1,405百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得833百万円等により、799百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払513百万円、長期借入金の返済94百万円等により、649百万円の支出となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

鉄スクラップ価格が乱高下するなど原料・燃料の価格動向は予断を許さない状況にあり、景気後退による需要の動向も不透明なため、通期業績につきましては、現時点では平成20年9月11日公表の業績予想を変更しておりません。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	148	281
受取手形及び売掛金	10,335	11,171
製品	3,267	3,035
仕掛品	6,510	5,858
原材料及び貯蔵品	5,497	4,735
その他	1,885	1,721
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	27,633	26,788
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	7,704	7,982
土地	8,507	8,497
その他（純額）	4,435	4,491
有形固定資産合計	20,647	20,970
無形固定資産		
投資その他の資産	124	104
投資有価証券	1,093	1,112
その他	717	715
貸倒引当金	△72	△71
投資その他の資産合計	1,738	1,756
固定資産合計	22,510	22,832
資産合計	50,143	49,621
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,238	10,355
短期借入金	4,996	4,996
未払法人税等	218	814
賞与引当金	594	613
その他	3,287	3,143
流動負債合計	21,335	19,922
固定負債		
長期借入金	62	61
再評価に係る繰延税金負債	2,370	2,370
退職給付引当金	4,242	4,687
その他の引当金	35	183
その他	516	442
固定負債合計	7,227	7,744
負債合計	28,563	27,666
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	3,253	3,614
自己株式	△24	△22
株主資本合計	20,627	20,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	218	230
土地再評価差額金	734	734
評価・換算差額等合計	952	964
純資産合計	21,580	21,954
負債純資産合計	50,143	49,621

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

売上高	27,802
売上原価	25,135
売上総利益	2,666
販売費及び一般管理費	2,310
営業利益	355
営業外収益	
受取配当金	21
受取賃貸料	17
その他	101
営業外収益合計	140
営業外費用	
支払利息	38
売上債権売却損	46
出向者人件費負担金	42
その他	55
営業外費用合計	183
経常利益	313
特別損失	
固定資産処分損	25
特別損失合計	25
税金等調整前四半期純利益	287
法人税等	134
四半期純利益	153

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	287
減価償却費	964
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△591
売上債権の増減額 (△は増加)	836
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,644
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,907
その他の資産・負債の増減額	455
小計	2,214
法人税等の支払額	△808
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△833
利息及び配当金の受取額	26
その他	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△94
自己株式の取得による支出	△2
配当金の支払額	△513
利息の支払額	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△649
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△42
現金及び現金同等物の期首残高	1,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,128

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報  
〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,211	4,244	1,347	27,802	—	27,802
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	19	15	170	(170)	—
計	22,347	4,263	1,362	27,973	(170)	27,802
営業利益	136	172	46	355	(—)	355

(注) 1 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) 特殊鋼……………鍛鋼品（ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材）  
特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品（軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金）  
その他（加工品、ビレット、その他）
- (2) 鋳鉄……………自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品（ダクタイル鋳物、普通鋳物）
- (3) 金型・工具……………各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,995	62	3,058
II 連結売上高（百万円）			27,802
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.8	0.2	11.0

（注）1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… タイ、台湾、韓国、中国 他

(2) その他の地域 …… アメリカ合衆国 他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



[参考資料]

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (19. 4. 1～19. 9. 30)
1. 売上高	27,172
2. 売上原価	23,193
売上総利益	3,978
3. 販売費及び一般管理費	2,172
営業利益	1,806
4. 営業外収益	112
受取利息及び配当金	27
貸借料	18
その他	67
5. 営業外費用	201
支払利息	41
出向者人件費負担金	38
その他	122
経常利益	1,716
6. 特別損失	114
固定資産処分損	99
投資有価証券評価損	14
税金等調整前中間純利益	1,602
法人税、住民税及び事業税	207
中間純利益	1,394

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (19. 4. 1～19. 9. 30)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,602
減価償却費	942
有形固定資産除却損	99
貸倒引当金の増減額(減少△)	0
退職給付引当金の増減額(役員含む)(減少△)	△ 182
賞与引当金の増減額(減少△)	△ 24
投資有価証券評価損	14
受取利息及び受取配当金	△ 27
支払利息	41
売上債権の増減額(増加△)	△ 1,599
たな卸資産の増減額(増加△)	△ 393
仕入債務の増減額(減少△)	△ 23
未払消費税等の増減額(減少△)	△ 10
その他資産負債の増減額	497
小 計	940
法人税等の支払額	△ 133
営業活動によるキャッシュ・フロー	807
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 924
投資有価証券の取得による支出	△ 1
利息及び配当金の受取額	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 898
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	95
長期借入金の返済による支出	△ 261
自己株式の取得による支出	△ 3
利息の支払額	△ 39
配当金の支払額	△ 366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 575
4. 現金及び現金同等物の増減額(減少△)	△ 666
5. 現金及び現金同等物の期首残高	1,548
6. 現金及び現金同等物の中間期末残高	881

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計	消去 又は全社	連結
1. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,118	3,744	1,309	27,172	—	27,172
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	127	9	14	150	( 150)	—
計	22,245	3,753	1,323	27,323	( 150)	27,172
営業費用	20,576	3,623	1,316	25,517	( 150)	25,366
営業利益	1,669	129	7	1,806	( — )	1,806

(注) 1. 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 特殊鋼 …… 鍛鋼品(ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材)  
特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品(軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金)  
その他(加工品、ビレット、その他)
- (2) 鋳鉄 …… 自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品  
(ダクタイル鋳物、普通鋳物)
- (3) 金型・工具 …… 各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、  
精密バイト、一般切削工具

3. 追加情報

「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」に記載のとおり、当社及び連結子会社は、法人税法改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。これにより営業利益は、特殊鋼事業が97百万円、鋳鉄事業が12百万円、金型・工具事業が4百万円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を越えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前中間連結会計期間（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

区分	アジア	その他	計
海外売上高	2,561	56	2,618
連結売上高			27,172
連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	9.4	0.2	9.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- ・アジア …… タイ、台湾、中国 他
- ・その他 …… アメリカ合衆国 他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〈参考資料〉

## 平成21年3月期 第2四半期決算発表

日本高周波鋼業株式会社

## 連結

## 1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:百万円、%)

摘要	当期 (20年度2Q)	(対前年同期)		前年同期 (19年度2Q)	通期予想 21年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	27,802	630	2.3%	27,172	58,500	5,076	9.5%
営業利益	355	△ 1,451	△80.3%	1,806	1,650	△ 1,038	△38.6%
経常利益	313	△ 1,403	△81.8%	1,716	1,500	△ 1,004	△40.1%
四半期純利益	153	△ 1,241	△89.0%	1,394	900	△ 960	△51.6%
売上高経常利益率	1.1%	—	—	6.3%	2.6%	—	—
1株当たり四半期純利益	1円04銭	—	—	9円51銭	6円13銭	—	—
設備投資	670	△ 462	△40.8%	1,132	2,000	△ 1,011	△33.6%
減価償却費	964	22	2.3%	942	1,980	25	1.3%

## 2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

(単位:百万円)

摘要	当期(20年度2Q)		前年同期(19年度2Q)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
特殊鋼	22,211	136	22,118	1,669	93	△ 1,533
鋳鉄	4,244	172	3,744	129	500	43
金型工具	1,347	46	1,309	7	38	39
合計	27,802	355	27,172	1,806	630	△ 1,451

## 3. 経常利益増減益要因(前年同期比) 17億円 → 3億円 (14億円の減益)

(単位:億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格改善	6	1. 原料・燃料コストの増大	19
2. 数量増加・構成改善	3	2. 固定費の増加	3
3. その他	1	3. 為替影響	2
計(A)	10	計(B)	24
		差引(A)-(B)	△ 14

## 個別

## 1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:千トン、百万円、%)

摘要	当期 (20年度2Q)	(対前期)		前年同期 (19年度2Q)	通期予想 21年3月期	(対前期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	20,645	△ 46	△0.2%	20,691	44,000	3,874	9.7%
営業利益	△ 169	△ 1,637	△111.5%	1,468	450	△ 1,552	△77.5%
経常利益	△ 60	△ 1,677	△103.7%	1,617	500	△ 1,611	△76.3%
四半期純利益	△ 59	△ 1,338	△104.6%	1,279	350	△ 1,377	△79.7%
売上高経常利益率	△0.3%	—	—	7.8%	1.1%	—	—
1株当たり四半期純利益	0円40銭	—	—	8円72銭	2円39銭	—	—

## 2. 部門別売上高(累計)

(単位:千トン、百万円)

摘要	当期(20年度2Q)		前年同期(19年度2Q)		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
工具鋼	30.3	8,347	29.4	7,853	0.9	494
特殊合金	9.4	7,926	10.1	9,774	△ 0.7	△ 1,848
軸受鋼	24.6	4,371	22.5	3,063	2.1	1,308
合計		20,645		20,691		△ 46

以上